

考えてみよう!

「新型コロナワクチン接種」について

若年層の感染が増えています!
皆さんのワクチン接種が、感染収束の鍵を握っています。

あきた健康チャレンジャー大使
シヤバ駄馬男さん



まず、
ワクチン
だすべ!



- ・主な副反応として、接種した部分の痛み、頭痛、筋肉痛、発熱等がありますがほとんどの場合、数日以内に回復します。
- ・まれな副反応として、アナフィラキシー[※]が起こることがありますが接種会場では、すぐに対応できるよう必要な医薬品などを準備しています。
- ・極めてまれに、心筋炎や心膜炎を発症した例が報告されています。接種後、数日以内に胸の痛みや息切れ、むくみ等の症状が現れた場合には、すぐに医療機関を受診してください。

ワクチン接種の効果

- ・発症を予防します。
- ・重症化を予防する効果も期待されます。
- ・感染者のうち高齢者の割合は減少しています。
- ・変異株に対する有効性についても確認が進められています。

※アナフィラキシーとは、接種後短時間で起こる重いアレルギー反応で、じんま疹や息苦しさなどの症状が現れます。

正しい
知識、
情報を!

Q 新型コロナワクチンが原因で、たくさんの方が亡くなっているというのは本当ですか。

A 国では、ワクチン接種後の死亡例について接種との因果関係を調査し、専門家による評価の結果を定期的に公表しています。8月25日時点で、国内で新型コロナワクチンの接種が原因で亡くなった方がいるという事実は確認されていません。

Q 新型コロナワクチンを接種することで、不妊になるという情報がSNSで流れていて不安です。

A 男女を問わず、ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠は報告されていません。SNSなどでは、科学的根拠や信頼のおける情報源に基づかない不正確な情報もあり、注意が必要です。

妊婦さんも
接種を
受けることが
できます!

- ・妊娠中(特に妊娠後期)に感染すると重症化のリスクが高いとされているため、ワクチンの接種を勧めています。
- ・海外では既に多くの妊婦が接種を受けていて、流産、早産、胎児の発育不全等の発生率は、接種を受けていない妊婦と同じ程度であると報告されています。
- ・妊婦本人だけでなく、配偶者など身近な方も早めの接種をご検討ください。
- ・ワクチン接種の有効性と安全性について十分に理解してから接種を受けられるよう、あらかじめ健診先の医師に相談し、妊娠中であることを接種会場の問診医に必ず伝えましょう。

まずは
健診医に
相談を!

あきた健康応援大使
相場詩織さん



接種後も
感染予防
対策を!

2回目のワクチン接種を終えた方の感染が報告されていますので、3密(密閉・密集・密接)を避け、マスクの正しい着用、手指の消毒など感染予防対策を引き続き行うようお願いします。

⚠ No! ワクチン差別

新型コロナワクチンの接種は強制ではなく、接種を受けることができない理由がある人もいます。接種を受けていない人を差別することのないようお願いします。

秋田県新型コロナワクチン相談センター 0570-066-567 8:00~17:00(毎日)

接種の手続きについては、お住まいの市町村へお問い合わせください

厚生労働省ホームページ・新型コロナワクチンについて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html



あきた新型コロナ受診相談センター

018-866-7050

018-895-9176

0570-011-567

どこに相談してよいか分からない場合、土日、夜間等で医療機関が休診の場合は、あきた新型コロナ受診相談センターへご相談ください

24時間受付

8:00~17:00(毎日)

8:00~17:00(毎日)

秋田県